

「あかぎ無限大キャンプ（事後キャンプ）」

1. 趣旨

- (1) 7泊8日の長期自然体験活動において、協働的な体験プログラム（野外炊事、赤城山登山、レクリエーション等）を通して、多様性を認め合える意識の醸成を図る。
- (2) 7泊8日の長期自然体験活動の集中的な屋外活動（外遊び）を通して、近視進行の抑制（健康の保持増進）を図る。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和4年9月17日（土）～9月18日（日）【1泊2日】

(2) 参加者 23名

5年生男子（5名） 6年生男子（7名）

5年生女子（5名） 6年生女子（6名）

3. 企画運営のポイント

- (1) 参加者に達成感を味わわせ、自身の成長を実感させるために、日程短縮のため本キャンプで実施できなかった赤城山登山をプログラムに取り入れた。
- (2) 参加者が、本キャンプで学んだことや感じたことを家庭・学校生活で生かしていくために、閉会式で一人一人に決意表明をする時間を設けた。
- (3) 本キャンプを欠席した参加者や本キャンプ途中で帰宅した参加者がスムーズにキャンプに参加できるように、職員とボランティア間の事前の打ち合わせと情報共有の徹底を図った。

4. 日程

	午前	午後
9月17日(土)	受付 開会式 登山 (姫百合駐車場～荒山高原～鍋割山) 昼食(荒山高原)	たき火 入浴 ふりかえり 就寝
9月18日(日)	起床・洗面・掃除・荷物整理 朝食 レクリエーション	アンケート記入(2種類) 色紙づくり 眼の検査 閉会式(決意表明)

5. 主な活動内容



「登山①」



「登山②」



「たき火」



「レクリエーション①」



「レクリエーション②」



「決意表明」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足	: 23人 (100%)	やや満足	: 0人 (0%)
やや不満	: 0人 (0%)	不満	: 0人 (0%)

(2) 参加者の声

- ・楽しいことがたくさんあった。
- ・朝から夜まで楽しめるスケジュールだった。
- ・短い時間でもいろいろできてよかった。
- ・途中から来た友達とも思い出が作れたからよかった。
- ・みんなで急な岩場を登り切り、頂上に行くことができて達成感がある。
- ・同じグループで笑いながら登山できた。
- ・レクリエーションで他の班とも遊べてうれしかった。
- ・色紙づくりで、みんなの思いが伝わってうれしかった。

(3) 成果

- ・参加者の様子やアンケート記述で「登頂できてよかった。」「仲間と協力して登りきることができた。」とあることから、本キャンプで実施できなかった登山で達成感やグループの連帯感を感じることができたと考える。
- ・閉会式で決意表明を取り入れたが、どの参加者もすぐに自身の感じたことを自身の言葉で発表することができた。そのことから、参加者は、本キャンプで学んだことを自分なりにふりかえり、これからの生活に生かしていこうとする意欲につながっていると考えられる。

(4) 課題

- ・参加者が自身の成長や変容がわかるプログラムや掲示の開発。
- ・キャンプ参加前を含む、参加者の健康状態の維持と把握の仕方。

担当：企画指導専門職 小林 大輔